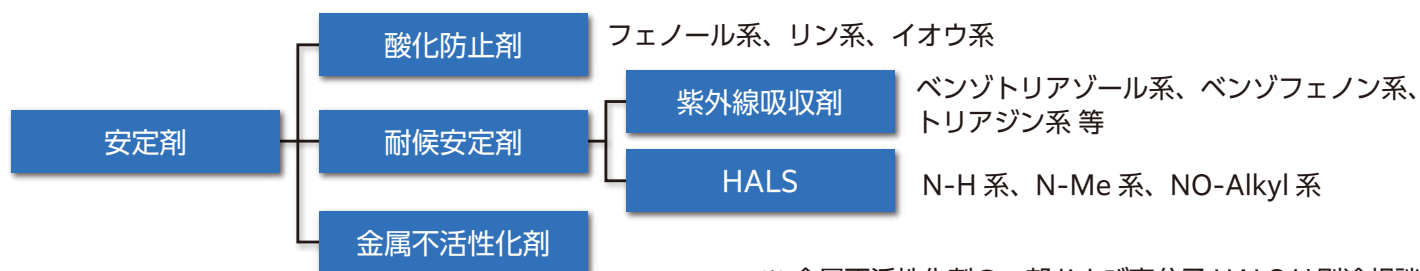


ポリオレフィンの安定剤の迅速分析

プラスチックには目的や用途に応じて様々な添加剤が使用される。特に、成形加工時や製品として使用する際に光や熱等の様々な要因により酸化や変色などの劣化が生じるため、使用される添加剤は劣化を抑制する安定剤が主体となる。

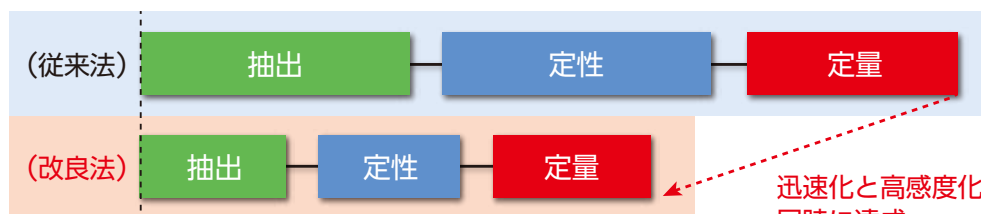
このたび長年の添加剤分析の知見と経験を活かし、添加剤の分析工程を抜本的に見直しすることで**ポリオレフィンの安定剤を迅速かつ高感度**に分析できる技術を確立した。その結果、分析結果報告の**短納期化**、**微量安定剤の分析**を可能とした。

分析対象の安定剤



※ 金属不活性化剤の一部および高分子 HALS は別途相談

ポリオレフィン安定剤の分析工程の迅速化と高感度化を同時達成



迅速化と高感度化を同時に達成

■迅速化の効果

- ・ 納期の短縮化を達成

抽出を含め定性分析時間は従来の 1/2
定量工程を含めても 2/3

■高感度化 (10~100 倍) の効果

- ・ 微量の残存添加剤を検出可能
- ・ 貴重な試料の消耗は最小限

| | |
|---|---------|
| ① Tinuvin 326 | (耐候安定剤) |
| <chem>C1=CC=C(C=C1)N2C(=O)N(C)N2</chem> | |
| ② イクトロソリッパ® - TS-5 | (帯電防止剤) |
| ③ サノール™ LS770 | (耐候安定剤) |
| ④ Irganox™ 1076 | (酸化防止剤) |
| ⑤ イカ® フォス™ 168 | (酸化防止剤) |
| ⑥ Irganox™ 3114 | (酸化防止剤) |
| ⑦ Irganox™ 1010 | (酸化防止剤) |

